

---

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO **iDWR**

東京都感染症情報センター

---

# 東京都感染症週報

2010年第12週  
(3月22日～3月28日)

- \* 2010年3月31日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
  - \* 今週は感染症豆知識「新型インフルエンザの流行」も掲載  
しています。

平成22(2010)年4月1日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)

FAX：03-5332-7365

e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

---

# 全数把握対象疾患 報告数 2010年12週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		9週	10週	11週	12週	年累計	12週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							1
	結核	75	67	63	45	784	227	4956
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ (H5N1)							
三類	コレラ					1		2
	細菌性赤痢	1		1	2	15	2	37
	腸管出血性大腸菌感染症		1	1	2	28	12	240
	腸チフス							5
	パラチフス				1	1	1	5
四類	E型肝炎	1	1	1		5		18
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎		3	4		13	13	69
	エキノコックス症							1
	黄熱							
	オウム病							1
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病					3	1	31
	デング熱		1	2	2	6	3	28
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱					1		5
	日本脳炎							
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
マラリア	1				5		14	
野兔病								
ライム病					1		3	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽					1		2	
レジオネラ症	1				7	9	120	
レプトスピラ症			1		1		1	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		9週	10週	11週	12週	年累計	12週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	5	1	5	4	34	9	187
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	3	3			11	1	39
	急性脳炎 *2		1	3		8	1	70
	クリプトスポリジウム症					1		1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1		1		3		32
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1				4	1	33
	後天性免疫不全症候群	9	6	16	11	101	14	287
	ジアルジア症	1				3		16
	髄膜炎菌性髄膜炎							3
	先天性風しん症候群							
	梅毒	1	6	5	3	33	8	123
	破傷風				1		1	14
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1	1	4	1	19
風しん			1	1	2		16	
麻しん	3	1	1	1	11	4	97	
新型※	新型インフルエンザ*3	-	-	-	-		-	
2010/3/31集計								

\*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

※新型インフルエンザ等感染症

\*3 2009年4月28日に指定された。現時点では届出不要。

### (全数把握対象疾患のコメント)

#### 〈二類感染症〉

**結核 45件** 肺結核24件、その他の結核19件、肺結核及びその他の結核2件で、推定感染地は全て国内、年齢は10歳代1件、20歳代5件、30歳代5件、40歳代11件、50歳代7件、60歳代3件、70歳代8件、80歳代4件、90歳以上1件であった。

#### 〈三類感染症〉

**細菌性赤痢 2件** 菌種はフレキシネル1件、ソネ1件。推定感染地は中国(上海)1件、インド及びバングラデシュ1件、推定感染経路は飲食物による経口感染1件、その他(不明)1件であった。

**腸管出血性大腸菌感染症 2件** どちらも患者。血清型・毒素型はO157(VT1VT2)1件、O157(VT1VT2)1件、年齢は20歳代1件、30歳代1件であった。

**パラチフス 1件** 患者で、推定感染地はインド及びネパール、推定感染経路は飲食物による経口感染であった。

#### 〈四類感染症〉

**デング熱 2件** デング熱1件、デング出血熱1件で、推定感染地はインドネシア1件、コロンビア1件である。

#### 〈五類感染症〉

**アメーバ赤痢 4件** 腸管アメーバ症3件、腸管及び腸管外アメーバ症1件で、推定感染地は全て国内、推定感染経路は飲食物による経口感染2件、経口感染及び性的接触1件、その他(不明)1件であった。

**後天性免疫不全症候群 11件** 無症候キャリア8件、AIDS3件。無症候キャリアおよびその他の年齢は20歳代2件、30歳代3件、40歳代2件、50歳代1件、AIDS患者の年齢は20歳代1件、40歳代1件、50歳代1件である。推定感染地は国内10件、韓国・ハワイ・サイパン1件、推定感染経路は全て性的接触(同性間9件、異性間2件)であった。

**梅毒 3件** 全て早期顕症梅毒Ⅱ期、推定感染地は国内、推定感染経路は性的接触(同性間1件、異性間1件、不明1件)であった。

**破傷風 1件** 患者は70歳代で、創傷からの感染が疑われている。

**バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1件** 血液から菌が分離・同定されている。

**風しん 1件** 検査診断例で、年齢は30歳代、風しん含有ワクチン接種歴は不明であった。

**麻しん 1件** 麻しん(臨床診断例)で、年齢は30歳代、麻しん含有ワクチン接種歴は不明であった。

※第11週該当分として、五類 後天性免疫不全症候群 1件(AIDS、30歳代)の追加報告があった。

## 定点把握対象疾患 報告数 2010年12週

定点種別	対象疾患	2010年					報告医療機関数	定点医療機関数
		9週	10週	11週	12週 (定点当たり)			
小児科	RSウイルス感染症	77	66	46	24	0.16	147	150
	咽頭結膜熱	24	22	18	11	0.07		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	286	247	246	209	1.42		
	感染性胃腸炎	1,627	1,690	1,595	1,150	7.82		
	水痘	271	225	299	230	1.56		
	手足口病	8	22	29	28	0.19		
	伝染性紅斑	38	34	35	34	0.23		
	突発性発しん	82	90	80	74	0.50		
	百日咳	1	5	2	3	0.02		
	ヘルパンギーナ	7	8	6	10	0.07		
	流行性耳下腺炎	108	105	99	99	0.67		
	不明発しん症 (注1)	7	5	10	11	0.07		
MCLS(川崎病) (注1)	3	4	3	1	0.01			
インフルエンザ	インフルエンザ (注2)	179	95	89	27	0.09	286	290
眼科	急性出血性結膜炎	5	1	1	2	0.05	39	39
	流行性角結膜炎	10	13	13	22	0.56		
基幹	細菌性髄膜炎 (注3)	1	1	1	1	0.04	23	24
	無菌性髄膜炎	2	1	0	1	0.04		
	マイコプラズマ肺炎	8	8	5	7	0.30		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0.00		

2010/3/31集計

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病)は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザ感染症を除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

# 風しん、麻しん、成人麻しんは2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

### (定点把握対象疾患のコメント)

- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。過去5年平均の同時期と比較して多い。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数は減少した。今シーズンは感染症法施行(1999年)以来、最大の報告数となっており、引き続き注意が必要である。
- ・マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。過去5年平均と比較して高いレベルで推移している。

### (定点医療機関からのコメント)

みなと保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎: 31名中、ロタウイルス性腸炎8名。

中野区保健所管内定点医療機関

- ・伝染性紅斑: 6歳児、全身の麻しん様発しんで発症。遅れて顔面紅斑出現。発熱なし。血液検査より麻しん、風しんは否定。パルボウイルスB19のIgM高値でした。10日前に兄弟がほぼ同様の症状ですぐ軽快しています。

新宿区保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎: 胃腸炎で検査した2例はロタウイルス(+).

多摩立川保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎: ロタウイルス性腸炎7名、細菌性腸炎2名。

## 定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2010年12週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	6			12	5			1		
～11か月	8		1	75	10	1	1	33		
1歳	4	1	5	183	31	6		35		3
2歳	6	3	8	133	42	11	2	2		2
3歳		2	19	108	36	3	3	2		1
4歳		3	26	97	34	4	6	1		1
5歳			25	95	31		4			2
6歳			23	71	19	1	4			
7歳		1	29	69	9		5			
8歳			23	44	5	2	4			
9歳		1	15	30	3		1			
10～14歳			20	81	5		3			
15～19歳				24						
20～29歳			15	128			1		3	1
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	24	11	209	1150	230	28	34	74	3	10
先週比	-22	-7	-37	-445	-69	-1	-1	-6	1	4

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月		1				
～11か月	1	2		1		
1歳	7	2	1			
2歳	6	2				
3歳	13	1		2		1
4歳	12			3		
5歳	19			4		
6歳	17	2		2		
7歳	2					
8歳	8			2		
9歳	1			2		
10～14歳	9			4		1
15～19歳	1	1				1
20～29歳	3			2		1
30～39歳				2		7
40～49歳				1	2	4
50～59歳						
60～69歳				1		2
70～79歳				1		5
80歳以上						
合計	99	11	1	27	2	22
先週比		1	-2	-62	1	9

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

### 全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2010年12週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		
20～29歳		
30～39歳	1	1
40～49歳		
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	1	1

## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2010年12週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田	1			2				1		
中央区				11	9			3		
みなと	6		8	48	15	3		3		
新宿区			5	38	3			1		
文京	1	1	6	9	2	1				
台東			9	25	3		1			
墨田区	1		6	11	4	5		4		
江東区			4	75	12	1		3		
品川区			4	80	8	1		4		
目黒区				13	6	1		1	1	
大田区	4	2	17	93	7	1	3	2		1
世田谷			7	72	11	2	1	2		
渋谷区			2	17	3	1		2	1	
中野区			2	62	4	1	6	1		
杉並	1		10	51	7			1		
池袋			1	11	3					
北区			6	15	8	2		1		
荒川区		1	1	20			3			
板橋区			3	16	4	1		1	1	
練馬区			2	31	6	1	1	2		
足立			26	37	10		1	9		
葛飾区		1	6	27	12		7	4		
江戸川	6	4	11	47	24		5	5		1
八王子市	1	2	26	76	15	1	2	7		
西多摩			5	16	3			1		
南多摩			5	33	13			3		1
町田	2		9	92	11			4		6
多摩立川			3	34	7	1				
多摩府中			11	39	4		2	4		
多摩小平	1		14	49	15	5	2	5		1
島しょ					1					

東京都合計	24	11	209	1,150	230	28	34	74	3	10
-------	----	----	-----	-------	-----	----	----	----	---	----

全数把握対象疾患  
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2010年12週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田						
中央区				1		8
みなと	3					
新宿区	1	2		1		2
文京	1					3
台東	1					
墨田区	2	2				
江東区	4					
品川区	4					
目黒区						
大田区	10	1	1	2	1	
世田谷	7					
渋谷区	1			1		
中野区	1	2		4		
杉並	4					
池袋	1					
北区	1			4		
荒川区						
板橋区	1			1		
練馬区	3					1
足立	1			1		1
葛飾区	5					
江戸川	2					4
八王子市	11	1		2		
西多摩	3			1		
南多摩	7			1		
町田	2	3		2		
多摩立川	11			2		1
多摩府中	1				1	
多摩小平	11			4		2
島しょ						

東京都合計	99	11	1	27	2	22
-------	----	----	---	----	---	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		
文京		
台東		
墨田区		
江東区		
品川区		
目黒区		
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並	1	
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		
八王子市		
西多摩		
南多摩		
町田		1
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計	1	1
-------	---	---

## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2010年12週

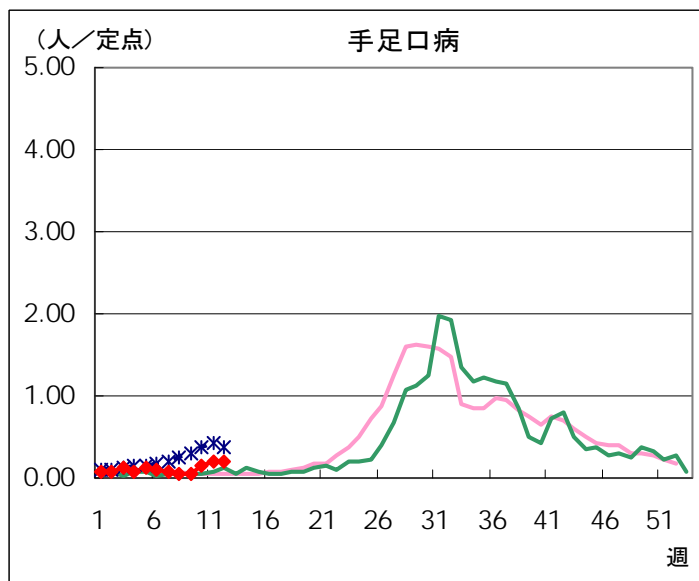
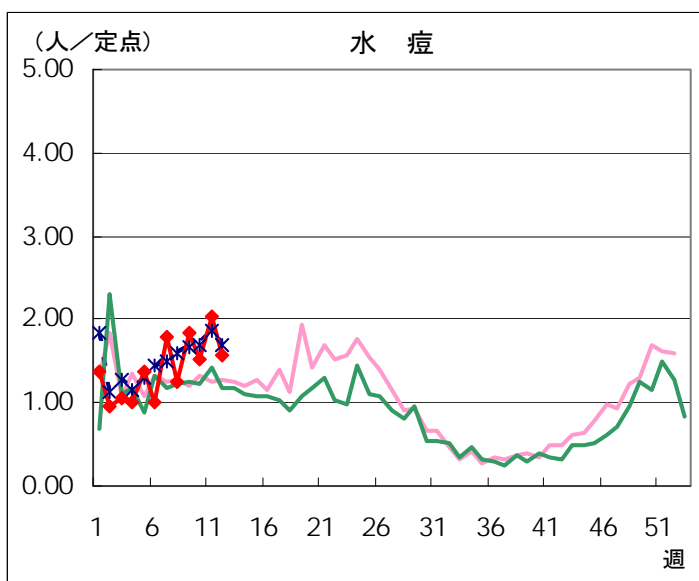
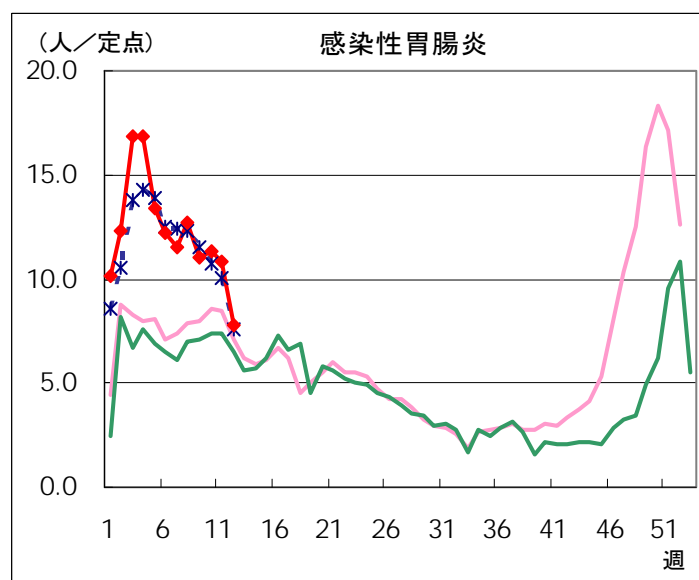
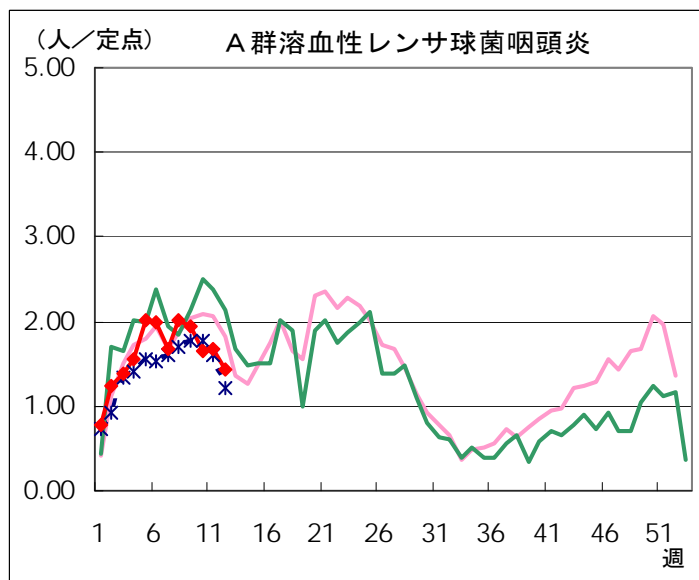
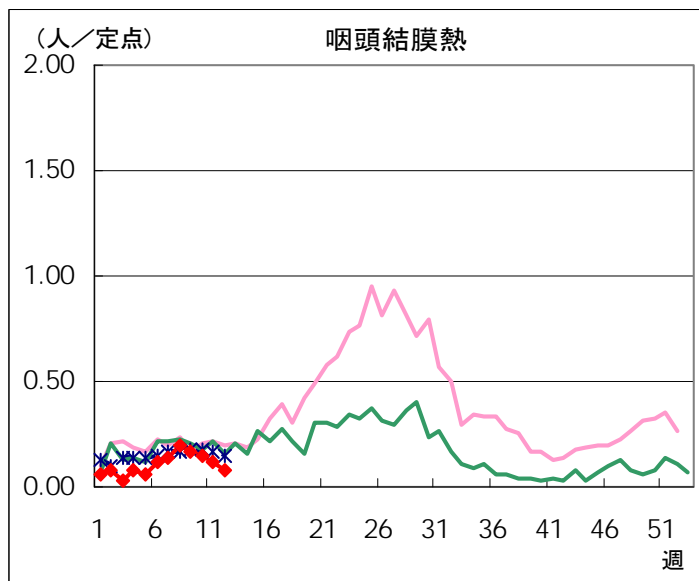
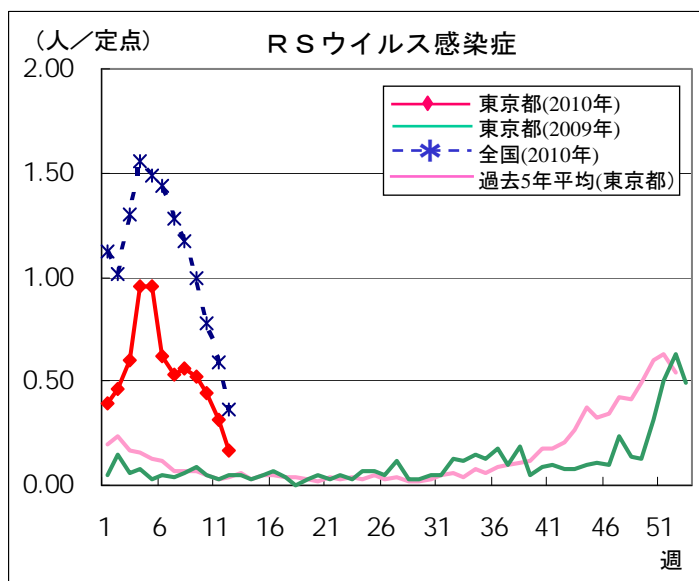
定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田	0.33			0.67				0.33		
中央区				3.67	3.00			1.00		
みなと	1.00		1.33	8.00	2.50	0.50		0.50		
新宿区			0.83	6.33	0.50			0.17		
文京	0.33	0.33	2.00	3.00	0.67	0.33				
台東			3.00	8.33	1.00		0.33			
墨田区	0.33		2.00	3.67	1.33	1.67		1.33		
江東区			1.00	18.75	3.00	0.25		0.75		
品川区			0.67	13.33	1.33	0.17		0.67		
目黒区				4.33	2.00	0.33		0.33	0.33	
大田区	0.44	0.22	1.89	10.33	0.78	0.11	0.33	0.22		0.11
世田谷			0.88	9.00	1.38	0.25	0.13	0.25		
渋谷区			0.50	4.25	0.75	0.25		0.50	0.25	
中野区			0.33	10.33	0.67	0.17	1.00	0.17		
杉並	0.17		1.67	8.50	1.17			0.17		
池袋			0.20	2.20	0.60					
北区			1.50	3.75	2.00	0.50		0.25		
荒川区		0.50	0.50	10.00			1.50			
板橋区			0.50	2.67	0.67	0.17		0.17	0.17	
練馬区			0.40	6.20	1.20	0.20	0.20	0.40		
足立			5.20	7.40	2.00		0.20	1.80		
葛飾区		0.25	1.50	6.75	3.00		1.75	1.00		
江戸川	1.20	0.80	2.20	9.40	4.80		1.00	1.00		0.20
八王子市	0.25	0.50	6.50	19.00	3.75	0.25	0.50	1.75		
西多摩			1.00	3.20	0.60			0.20		
南多摩			1.25	8.25	3.25			0.75		0.25
町田	0.50		2.25	23.00	2.75			1.00		1.50
多摩立川			0.50	5.67	1.17	0.17				
多摩府中			1.38	4.88	0.50		0.25	0.50		
多摩小平	0.17		2.33	8.17	2.50	0.83	0.33	0.83		0.17
島しょ					1.00					
東京都	0.16	0.07	1.42	7.82	1.56	0.19	0.23	0.50	0.02	0.07

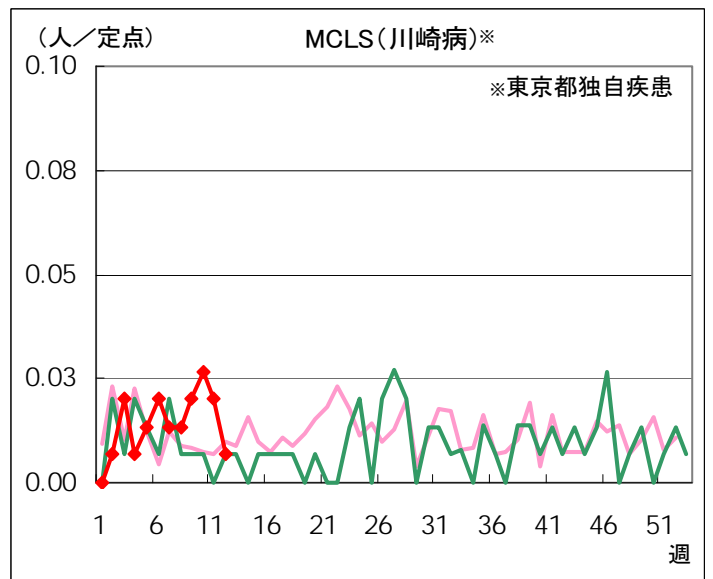
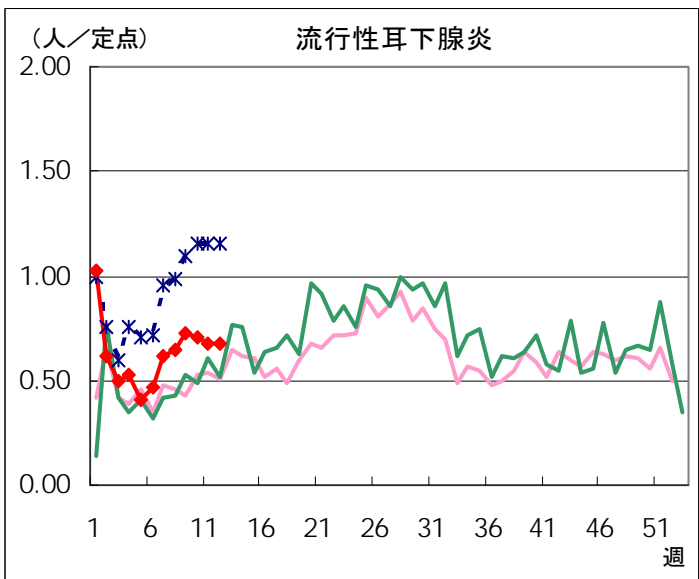
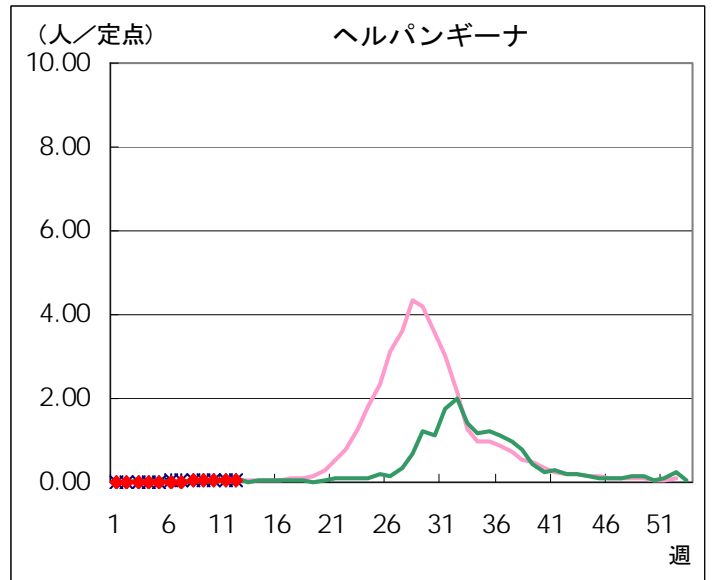
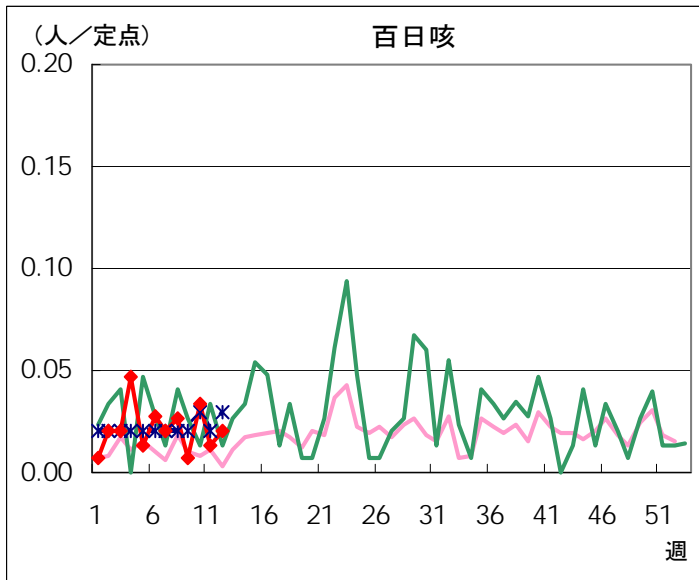
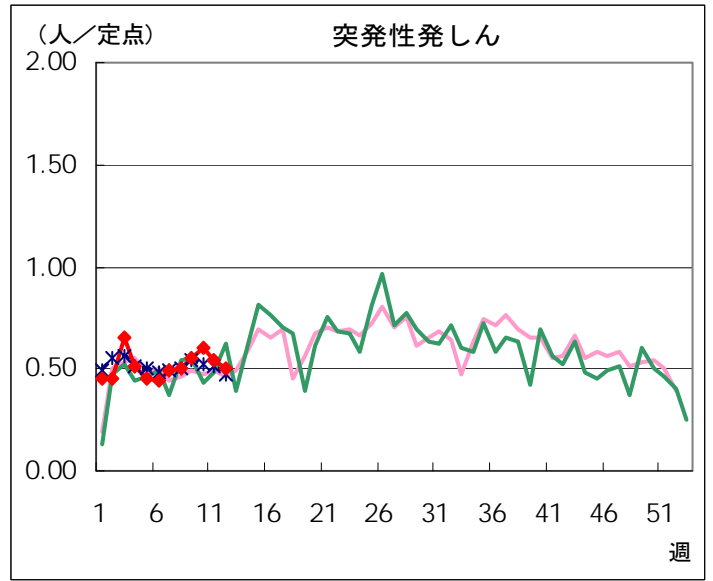
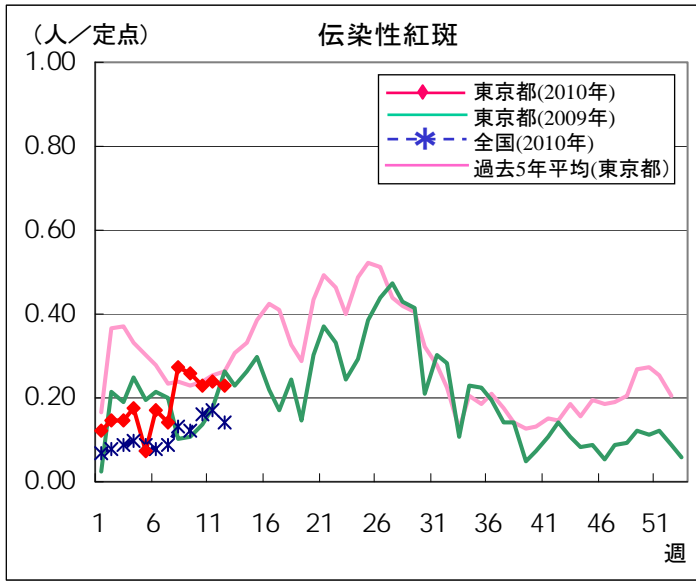


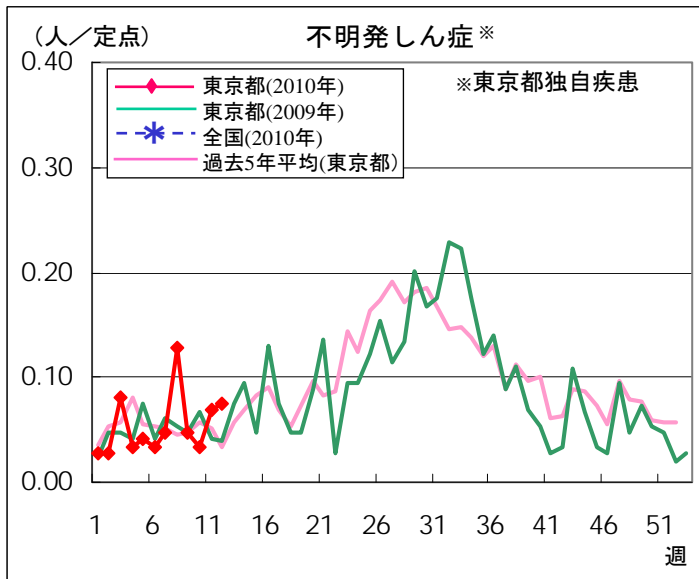
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田						
中央区				0.25		8.00
みなと	0.50					
新宿区	0.17	0.33		0.11		1.00
文京	0.33					3.00
台東	0.33					
墨田区	0.67	0.67				
江東区	1.00					
品川区	0.67					
目黒区						
大田区	1.11	0.11	0.11	0.13	0.50	
世田谷	0.88					
渋谷区	0.25			0.17		
中野区	0.17	0.33		0.44		
杉並	0.67					
池袋	0.20					
北区	0.25			0.50		
荒川区						
板橋区	0.17			0.08		
練馬区	0.60					0.50
足立	0.20			0.08		0.50
葛飾区	1.25					
江戸川	0.40					2.00
八王子市	2.75	0.25		0.20		
西多摩	0.60			0.11		
南多摩	1.75			0.11		
町田	0.50	0.75		0.22		
多摩立川	1.83			0.15		0.50
多摩府中	0.13				0.33	
多摩小平	1.83			0.29		1.00
島しょ						
東京都	0.67	0.07	0.01	0.09	0.05	0.56

# 定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2010年12週現在

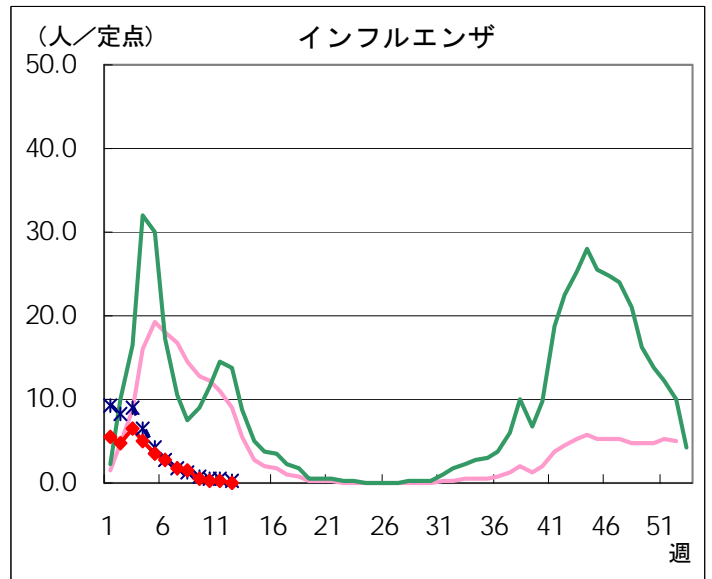
## ◆ 小児科定点



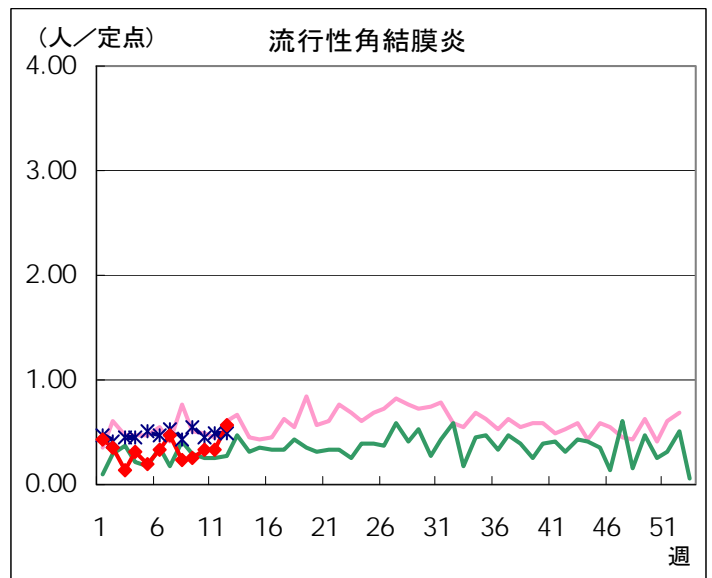
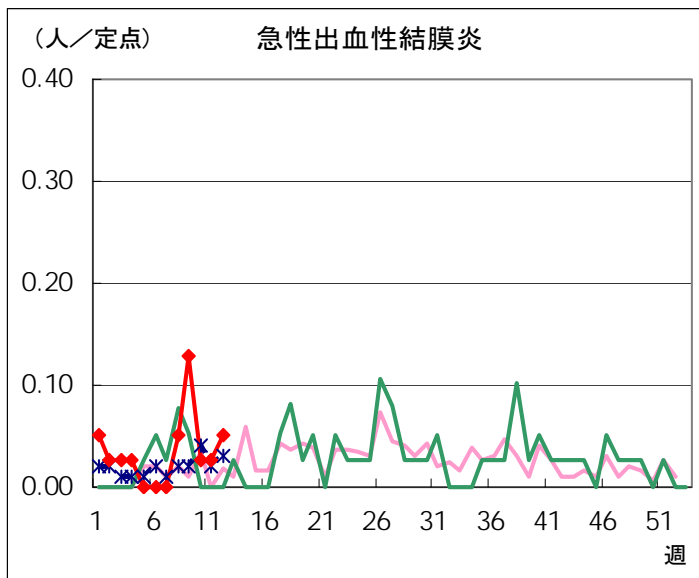




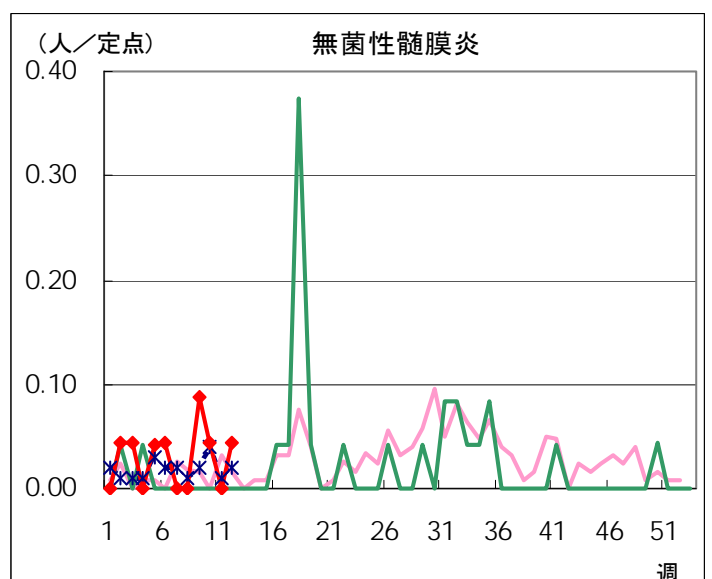
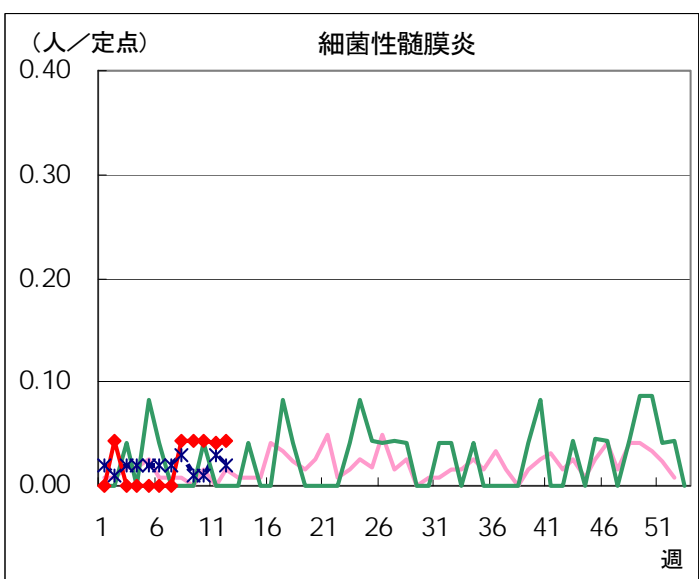
◆ インフルエンザ定点

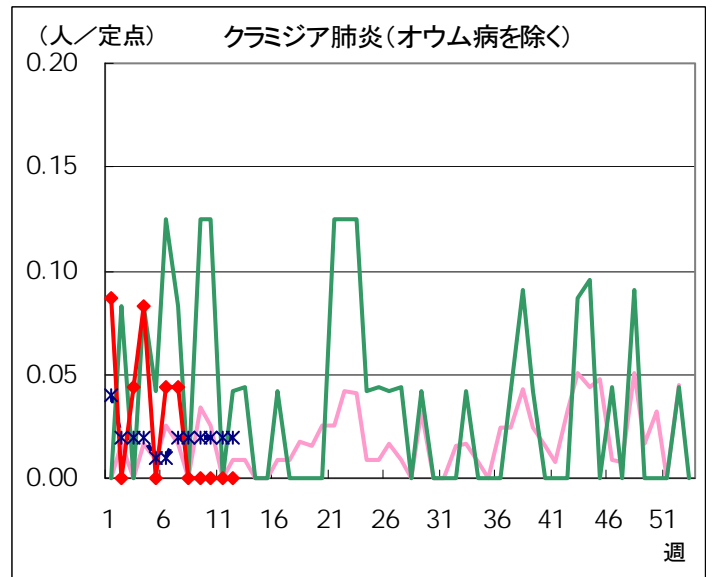
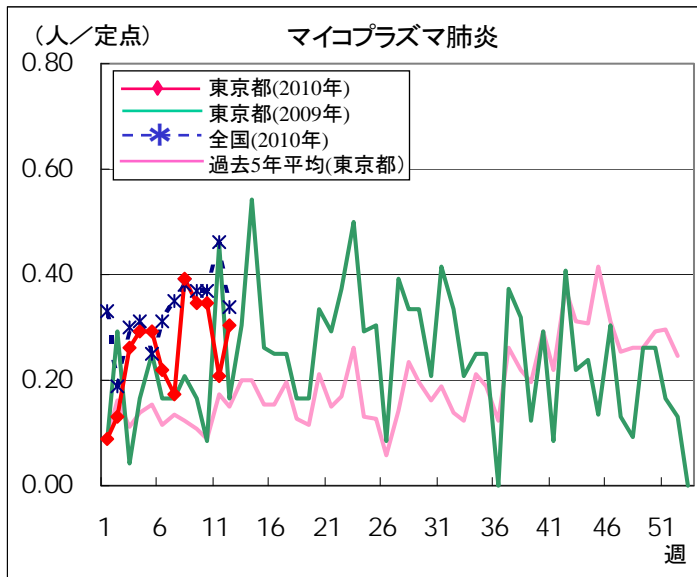


◆ 眼科定点

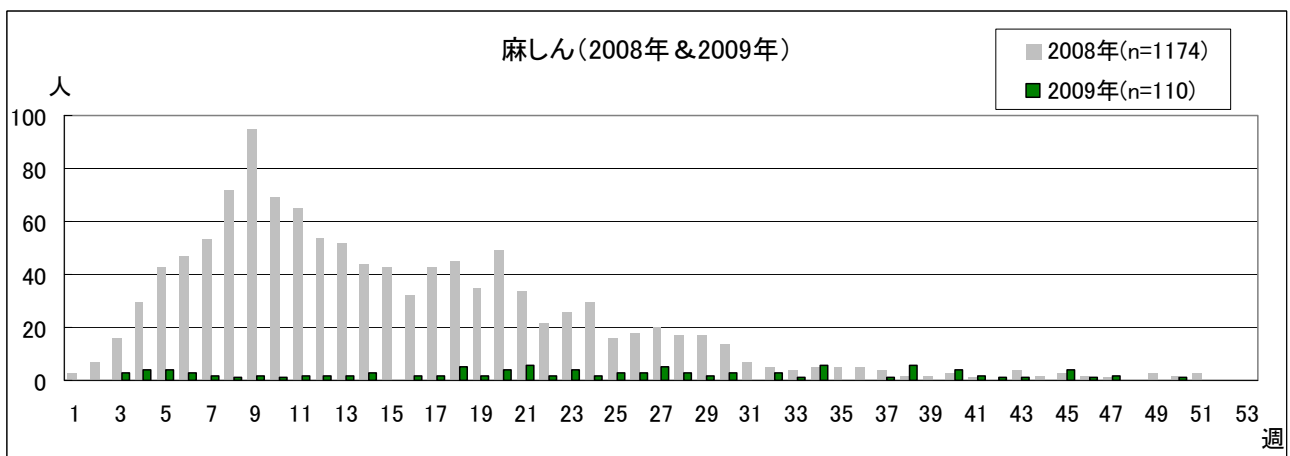
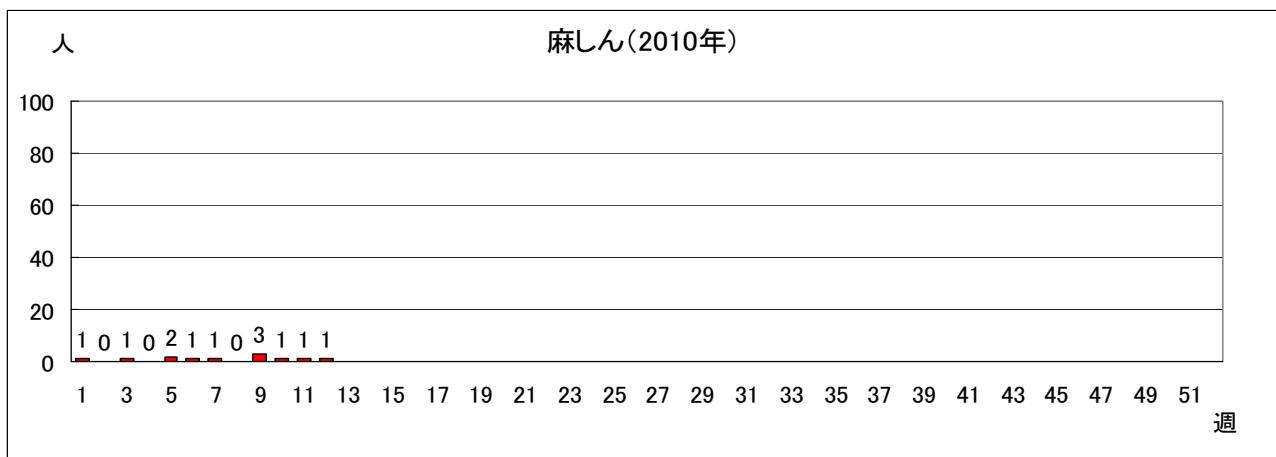


◆ 基幹定点





**全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2010年12週現在**



## 定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況

\*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
3/10	突発性発しん	2M	咽頭拭い液	アデノウイルス、EBウイルス サイトメガロウイルス	遺伝子
3/11	手足口病	5	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
3/12	水痘	7	咽頭拭い液	水痘帯状疱疹ウイルス	
3/12	咽頭結膜熱	1	咽頭拭い液	ライノウイルス	
3/12	急性上気道炎	2	咽頭拭い液	RSウイルス	
3/12	無菌性髄膜炎	6	髄液	ムンプスウイルス	
3/13	不明発しん	1	咽頭拭い液	アデノウイルス ヒトヘルペスウイルス6型	
3/13	感染性胃腸炎	記載なし	糞便	A群ロタウイルス	抗原
3/15	RSウイルス感染症	4	鼻汁	ライノウイルス、RSウイルス	遺伝子
3/15	胃腸炎	3	糞便	A群ロタウイルス	抗原
3/15	急性扁桃炎	7	咽頭拭い液	アデノウイルス、EBウイルス	遺伝子
3/16	RSウイルス気管支炎	1M	咽頭拭い液	RSウイルス	
3/17	多形滲出性紅斑	6	咽頭拭い液	アデノウイルス	
3/17	川崎病	1	咽頭拭い液	ライノウイルス	
3/17	痙攣重積	1	髄液	ヒトヘルペスウイルス6型、7型	
記載なし	発熱	23	血清	デングウイルス3型	
記載なし	感染性胃腸炎	記載なし	糞便	ライノウイルス	
記載なし	RSウイルス気管支炎	2	咽頭拭い液	アデノウイルス、RSウイルス	
記載なし	気管支炎	6M	咽頭拭い液	アデノウイルス、ライノウイルス RSウイルス	
記載なし	急性扁桃炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス、ライノウイルス	
記載なし	不明発しん	2	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス7型	
記載なし	インフルエンザ	記載なし	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型	

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型

検出件数	インフルエンザウイルス			
	AH1型	AH3型	B型	AH1pdm(新型)*1
11週	0	0	2	1
今シーズン累計 *2	1	0	7 *3	726

\*1：新型インフルエンザウイルス(ブタ由来インフルエンザウイルスA/H1N1)。

\*2：2009-2010シーズンの開始は第36週(8月31日～9月6日)。

\*3：10週分の追加報告1件を含む。

## 病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2010年							
		4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週
ウイルス	アデノウイルス	8	9	5	2	14	2	4	7
	ライノウイルス	1	2	1	3	3	1	3	6
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	1	1	3		1		1	1
	単純ヘルペスウイルス					1	2		
	水痘・帯状疱疹ウイルス					1			1
	ヘルペスウイルス6/7	3	3	4			3	1	4
	EBウイルス	1	4		1			2	2
	サイトメガロウイルス			1		1			1
	ムンプスウイルス		4	1		2	1	1	1
	麻疹ウイルス			1					
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19								
	RSウイルス	9	7	2	9	5	3	2	5
	ノロウイルス	14	2	2	9	2		1	
	ロタウイルス				5	2	1	1	2
	インフルエンザウイルスAH1								
	インフルエンザウイルスAH3								
	インフルエンザウイルスB			1		1	1	2	2
新型インフルエンザウイルスAH1pdm	19	29	20	17	22	6	6	1	
デングウイルス(抗体を含む)		3						1	
その他のウイルス		1							
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌					4		4	
	その他の細菌			1		1			
その他の病原体		1							



病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2010年4週～2010年11週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数	150	29	64	51	22	3		3		4	1	12	8	2	1		116	
ウイルス	アデノウイルス	7	5	18	6		1					3	2				9	
	ライノウイルス	1	1	5	2		1						1	1			8	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス	1			1					4		1						1
	単純ヘルペスウイルス								1									2
	水痘・帯状疱疹しんウイルス														2			
	ヘルペスウイルス6/7			3						1		5						9
	EBウイルス			3						1			2					4
	サイトメガロウイルス											1						2
	ムンプスウイルス						3							6				1
	麻疹しんウイルス											1						
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19																	
	RSウイルス			4	35													3
	ノロウイルス				2	22												6
	ロタウイルス					10												1
	インフルエンザウイルスAH1																	
インフルエンザウイルスAH3																		
インフルエンザウイルスB	7																	
新型インフルエンザウイルスAH1pdm	117			2													1	
デングウイルス(抗体を含む)																	4	
その他のウイルス					1													
細菌	カンピロバクター																	
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																	
	溶血性レンサ球菌			7													1	
その他の細菌																	2	
その他の病原体				1														

## <感染症豆知識>

### 新型インフルエンザの流行

平成21年5月に日本に上陸した新型インフルエンザは瞬く間に全国に広がり、東京都においても第36週(8月31日～)で定点当たり3.66人(平成20年同期 0.01人)と早くも上昇傾向を示し、9月25日に流行注意報が発令され、10月28日には定点当たり30人を超えた保健所の管内人口が都内人口の3割を超え、流行警報となり臨床現場は混乱の様相となった。

各医療機関には発熱者が検査ならびに抗ウイルス剤の処方を希望され殺到し、また情報の混乱により企業からも検査結果がないと出勤できないなどの指導から、患者家族からの相談も舞い込み、さらなる騒動を招いた。発熱者の対応に関しても各医療機関には医師会からFAXで山のような情報が毎回押し寄せ、そこに新型インフルエンザワクチン騒動が重なり医療現場はますます混乱を極めた。

平成21年12月に入り定点当たり10人台に減少し、平成22年1月に入ると5人前後に落ち着いてきた。まだ予断は許さないが今回の流行の中、臨床像は季節型と変わりはなく多くは回復するが、特徴的なことは①小児が多く罹患し50代以降は少ない ②小児では5～9歳>0～4歳>10～14歳で男性>女性 ③死亡145例中基礎疾患有りが73.3%であったが、9歳以下26例中19例(73.1%)は基礎疾患がなかったとの報告がある。季節型に比して新型は致死率が低いと言われているものの、昨年7月からのインフルエンザ脳症285例中84%が新型で5～9歳が多いという発表(平成22年2月9日)もあり肺炎、心筋炎を含め決してまだ楽観視できない疾患と思われる。

(文責 沼口小児科 沼口俊介)